



第 44 号

令和 4年 1月 1日

(一財)栃木県民間社会福祉施設職員退職手当共済財団

印刷 松井ピ・テ・オ・印刷



当共済財団は、令和3年(2021年)4月1日を持ちまして創立50周年を迎えることとなりました。令和2年当初から拡大してきた新型コロナウイルスの感染対策もあって、やむなく規模を縮小せざるを得ませんでした。関係者の皆様のご協力によりまして6月9日宇都宮市内会場において、記念式典を挙げる事ができました。

当共済財団は、昭和46年(1971年)民間社会福祉施設職員の待遇改善を目的に、栃木県や児童、障害、老人、救護など各団体のご協力によりまして設立した共済団体であります。発足以来、昭和・平成・令和と三つの時代を駆け抜け、その間幾多の大きな変革を乗り越えつつ50年という歴史を刻んで参りました。

今後とも、退職手当支給手続きを通しまして、県内民間社会福祉施設とそこに勤務される方々の身近なパートナーとして、皆様と共に歩んで参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
《写真撮影：那須共育学園 山口俊幸 氏》

掛金の納付は口座引き落としによる方法をお願いします。

月額共済掛金は、原則として金融機関の口座引き落としによる納付をお願いしています。口座引き落としをご利用されていない法人様にはご協力をお願いします。



私達の財団の 現状について

理事長 松野直之

新年、明けましておめでとうございます。共済加入者の皆様をはじめ関係者の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当財団は、昭和四十六年の創設で、昨年四月一日をもって創立五十周年を迎えました。半世紀という輝かしい年輪を数えることができましたのもひとえに、共済加入者・関係者の皆様のご支援ご協力があればこそと改めて御礼を申し上げます。

私は、これまで当財団の発展に貢献されました菊地前理事長の後任として、昨年六月、理事長を拝命致しました。引き続き皆様のご協力とご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様からお預かりしております掛金を原資とする年金資産の運用に關しましては、令和二年度末に、年金資産運用額が百九十四億四千万円強となりました。同年度末の引当資産額は、百九十七億八千七百万円となり、退職金要支給額に対する積立割合（積立資産充足率）は百三十六・六三%となっております。

資産運用を取り巻く環境は、リーマンショック以降緩やかな回復基調を示してきましたが、令和二年二月から表面化した新型コロナウイルス

の世界的な感染拡大により、大きな転機を迎える事となり、市場も大きく影響を受けることとなりました。

各国当局の財政支援策やワクチンの普及拡大により、市場はやや落ち着きを取り戻しつつあるようにも見受けられますが、不透明な環境が当面続くものと懸念されます。コロナ禍後の世界経済の行方にも懸念材料が山積しており、環境問題への対応、世界経済の保護主義的動き、米中貿易摩擦の影響等グローバルな課題の中、我が国経済も難しい舵取りを引き続き迫られるものと思われま

す。リーマンショックを経験し、一定の足腰の強さを取戻しつつあった各国経済ですが、コロナ禍後の新常态を模索する社会情勢の中、各国とも難しい課題に直面していると言えるのではないのでしょうか。

こうした中、当共済財団としては、皆様からお預かりしました共済掛金を安全第一に運用し、退職共済制度が長期的に安定した制度として維持できますよう今後とも、細心の注意を払うとともに、なお一層知恵を絞って参る所存であります。

共済契約者並びに加入職員の皆様方におかれましては、当制度の健全性維持のため、なお一層のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

次に、令和二年度の事業概要をご報告いたします。

◆退職手当給付金の支給については、前年度より百十五名減少し、一千四百五十七名の退職者（被共済職員）の方々に総額一〇億一千七百四十六万円余を支給しました。

◆一方、退職手当積立金（基金）は、八億円を積み立てることができ、資産総額は、時価評価で総額百九十四億四千三百二十万円余となりました。

◆資産の運用状況につきましては、一部預貯金等があるものの、年金信託一〇〇%となっております。平成二十六年年度から預託先が二行となり、令和三年三月末の信託割合は、三菱UFJ信託銀行七十四%、三井住友信託銀行二十六%となっております。財産運用収入は一千八十一万円余となっております。

◆令和二年度の年金信託の運用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響で前年度末に発生した大きな落込みの反動や、各国の財政出動・ワクチン接種の拡大等による経済回復の動きにより、比較的安定して推移しました。結果として、年間の運用実績としては大きく改善しました。

令和二年度の結果としては、年金信託収入と資産評価の増加額を合わせた時価による収益率（修正総合収益率）は、九・三七%（前年度マイナス一・六七%）、金額で十六億三千四百二十七万円余となりました。

今後の市場環境の行方については、未だ不透明なコロナ禍後の経済動向を注視しつつ、米中の動向を中心にグローバルな政治・経済・環境問題の行方を注視していく展開と思われま

◆当財団小委員会（資産運用役員会）では、資産運用の管理体制の強化・充実を図り、安全かつ確実に総合収益を確保するために、信託銀行二行に対し適宜聞き取りを行い、当財団が定める「資産運用の基本方針」及び長期的資産構成割合（基本ポートフォリオ）に基づき修正総合収益がベンチマークに沿った状況で運用されていることを確認しました。引き続き受託者責任を十分果たすよう監理して参ります。

◆業務の広報を図るため、機関紙「私達の財団」第四十三号を発行し、被共済職員や関係者に配付を行いました。

◆また、財団の重要広報手段である、「ホームページ」ようこそ！私達の財団へ」を、是非ご利用・ご覧下さい。自分で退職金の計算ができる退職手当給付制度の試算例を紹介する等被共済職員の利用促進にも努めています。

◆（独）福祉医療機構の受託事業である「社会福祉施設職員等共済法」の令和二年度の事務処理実績は、九百九十八名でした。



令和2年度事業実績と決算の概要

共済契約施設及び被共済職員の状況

◆施設の種別別 契約施設数・被共済職員数◆

(単位：所・人)

施設の種別	契約施設数	職員数
保護施設	2	30
児童福祉施設	保育所	3,352
	その他	572
老人福祉介護保険施設	249	6,829
その他の社会保険施設	3	23
障害福祉施設	202	3,058
計	682	13,864

◆施設数及び被共済職員数の推移◆

(単位：所・人)

区分	年度	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1 (H31)	R 2
施設数		635	654	662	674	682
被共済職員数		12,882	13,191	13,457	13,570	13,864

令和2年度末の共済契約(加入)施設数は、682ヶ所、被共済(加入)職員数は、13,864人となり、施設数・被共済職員数ともに増加しています。

退職手当金の支給状況

(単位：人・円)

区分	年度	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1 (H31)	R 2
人員		1,669	1,580	1,617	1,572	1,457
金額		1,125,683,244	996,773,315	1,007,394,471	1,010,980,576	1,017,460,391

資産の運用収入状況

(単位：千円)

区分	年度	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1 (H31)	R 2
金額		3,093	4,163	2,859	7,043	10,811

※平成26年度一般財団法人に移行のため、非課税ファンド資産を解約し、課税ファンドに資産を移行しました。

退職手当積立金(基金)の状況

(単位：千円)

区分	年度	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1 (H31)	R 2
積立金		734,336	1,105,883	1,044,953	448,927	2,415,596
累計		14,427,864	15,533,747	16,578,700	17,027,627	19,443,223

令和2年度決算の概要

◆ 正味財産増減計算書 ◆

(単位：円)

科 目		退職共済事業	受託事業	小 計	法人会計	合 計
一般正味財産	経常収益					
	基本財産運用益	12	0	12	0	12
	特定資産運用益	2,828	101	2,929	99	3,028
	事業収益	15,102,341	1,249,194	16,351,535	8,800,147	25,151,682
	経常収益計	15,105,181	1,249,295	16,354,476	8,800,246	25,154,722
	経常費用					
	事業費	15,105,181	1,249,295	16,354,476	0	16,354,476
	管理費	0	0	0	8,718,846	8,718,846
	経常費用計	15,105,181	1,249,295	16,354,476	8,718,846	25,073,322
	当期経常増減額	0	0	0	81,400	81,400
	当期経常外増減額	0	0	0	0	0
	法人税、住民税及び事業税	0	0	0	81,400	81,400
	当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	2,029,657	8,396	2,038,053	674,292	2,712,345	
一般正味財産期末残高	2,029,657	8,396	2,038,053	674,292	2,712,345	
指定正味財産	基本財産運用益	12	0	12	0	12
	特定資産運用益	277	0	277	0	277
	一般正味財産への振替額	289	0	289	0	289
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高	3,399,000	0	3,399,000	0	3,399,000
	指定正味財産期末残高	3,399,000	0	3,399,000	0	3,399,000
正味財産期末残高	5,428,657	8,396	5,437,053	674,292	6,111,345	

◆ 貸借対照表 ◆

令和3年3月31日現在

(単位：円)

借 方(資 産)		貸 方(負 債・正味財産)	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	2,528,044	流 動 負 債	1,555,083
現金預金	2,528,044	未払金	475,326
固 定 資 産	19,803,428,697	未払い法人税等	81,400
基 本 財 産	134,000	預り金等	186,857
現金預金	134,000	賞与引当金	811,500
特 定 資 産	19,801,555,313	固 定 負 債	19,798,290,313
共済事業引当資産	19,787,507,213	共済事業預り金	19,784,242,213
職員退職給付引当資産	14,048,100	職員退職給付引当金	14,048,100
その他の固定資産	1,739,384	正 味 財 産	6,111,345
ソフトウェア	831,600	指定正味財産	3,399,000
電話加入権	81,517	寄附金	3,399,000
什器備品等	609,295	一般正味財産	2,712,345
長期前払費用	216,972		
合 計	19,805,956,741	合 計	19,805,956,741

令和3年度事業計画及び予算の概要

令和 3 年度 事業計画

民間社会福祉施設等に勤務する職員の処遇向上を図るため、退職手当共済事業の一層の充実推進に努めます。

一 退職一時金の給付及び資産運用について
退職手当共済制度が長期的に安定した制度として維持できるように、調査・研究や創意工夫を行い、円滑な事業推進を図っていきます。資産運用については、引き続き、ポートフォリオ（平成二十六年改定）の検証を進めながら、リスクの低い資産運用、三菱UFJ信託銀行と三井住友信託銀行二行の特徴を活かした資産運用を進め、安全かつ確実な総合収益を確保し、さらなる財政の健全化に努めて参ります。

二 事務の適正かつ円滑な実施と利便性の向上について
共済加入職員数が一三、九〇〇名を超え業務量が増加する中、事務処理の「迅速且つ正確」を基本姿勢に、適正で円滑な事務処理を推進し、共済契約者のさらなる利便性の向上に努めます。

【主な事業】

① 役員会等の開催
定例理事会、定時評議員会、定例監事会等を適時開催します。

② 退職共済事業及び受託事業

共済契約施設及び被共済職員に対する共済掛金の収入事務、退職手当金の支給事務及び独立行政法人福祉医療機構の受託事務（退職届等のみ）を効率的・迅速に実施します。

③ 退職手当共済制度の事務指導等

退職手当共済制度の適正な事務処理、資産運用状況説明、共済契約施設に対する事務指導を引き続き行います。

④ 会議・研修会等への事務局職員の参加

関東ブロック共済制度連絡協議会や運用委託金融機関主催の研修への参加により、共済事務の品質向上に向けた情報交換を積極的に行います。

令和 3 年度 収支予算書

(単位：円)

科 目		退職共済事業	受託事業	法人会計	合 計	前年度予算額
一般正味財産	基本財産運用益	1,000			1,000	1,000
	特定資産運用益	3,000			3,000	4,000
	事業収益	15,851,000	1,327,000	10,256,000	27,434,000	25,690,000
	雑収益			600,000	600,000	0
	経常収益計	15,855,000	1,327,000	10,856,000	28,038,000	25,695,000
	事業費	15,855,000	1,327,000		17,182,000	16,463,000
	管理費			8,776,000	8,776,000	9,132,000
	経常費用計	15,855,000	1,327,000	8,776,000	25,958,000	25,595,000
	当期経常増減額	0	0	2,080,000	2,080,000	100,000
	経常外費用計	0	0	1,980,000	1,980,000	0
	税引前当期一般正味財産増減額	0	0	100,000	100,000	100,000
	法人税、住民税及び事業税	0	0	100,000	100,000	100,000
	当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0
	一般正味財産期首残高	2,029,000	9,000	674,000	2,712,000	2,712,000
一般正味財産期末残高	2,029,000	9,000	674,000	2,712,000	2,712,000	
指定正味財産	基本財産運用益	1,000			1,000	1,000
	特定資産運用益	3,000			3,000	4,000
	一般正味財産への振替額	4,000			4,000	5,000
	当期指定正味財産増減額	0			0	0
	指定正味財産期首残高	3,399,000			3,399,000	3,399,000
	指定正味財産期末残高	3,399,000			3,399,000	3,399,000
	正味財産期末残高	5,428,000	9,000	674,000	6,111,000	6,111,000

役 員 名 簿

理事会

(令和四年一月一日現在)

職 名	氏 名	備 考
理事 長	松 野 直 之	栃木県障害施設・事業協会代表 (社福)せせらぎ会 かえて 施設長
副 理 事 長	湯 澤 洋 子	栃木県保育協議会代表 (社福)田原福祉会 ゆりかごきつずな一さりーすくる 施設長
常 務 理 事	野 澤 秀 夫	一般財団法人栃木県民間社会福祉施設職員 退職手当共済財団 事務局長
理 事	関 上 佳 代 子	栃木県児童養護施設等連絡協議会代表 (社福)あかつき寮 施設長
同	古 口 光 夫	栃木県老人福祉施設協議会代表 (社福)光誠会 ケアハウスフローラ 施設長
同	横 川 恵	栃木県老人福祉施設協議会代表 (社福)信徳会 特別養護老人ホーム栗野荘 施設長
同	山 中 徹 弥	栃木県障害施設・事業協会代表 (社福)下野会 国分寺学園 施設長
監 事	峯 山 敏 正	栃木県障害施設・事業協会代表 (社福)すぎなみき会 すぎなみき学園 施設長
同	鈴 木 敏 夫	共済財団事務局長経験者

◇ 役員 の 任 期 ◇

理事・監事の任期は二年で、令和五年の定時評議員会（六月開催予定）までとなっています。
また、評議員につきましては、任期は四年で、令和四年の定時評議員会までとなっています。

評議員会

職 名	氏 名	備 考
評 議 員	篠 崎 和 男	栃木県社会福祉協議会 常務理事
同	篠 原 真 奈 美	栃木県保育協議会代表 (社福)まこと福祉会 茂呂保育園 園長
同	大 川 眞	栃木県保育協議会代表 (社福)小俣幼児生活園 園長
同	櫻 井 み つ 江	栃木県老人福祉施設協議会代表 (社福)桜寿会 さくらの杜 施設長
同	阿 由 葉 誠	栃木県老人福祉施設協議会代表 (社福)足利むつみ会 青空 施設長
同	浅 香 典 靖	栃木県障害施設・事業協会代表 (社福)渡良瀬会 栃の葉荘 施設長
同	江 田 仁	栃木県児童養護施設等連絡協議会代表 (社福)桔梗寮 桔梗寮書記

感染対策を徹底していきましょう

◆感染対策7つの基本

- ① 身体的距離の確保 (間隔をとり、会話は真正面を避けよう。)
- ② マスクの着用・咳エチケット (会話をする時はいつでも、どこでも、無症状でも、マスクを着ける。咳エチケットは厳守。)
- ③ 手洗い (こまめに、30秒かけて、水と石鹸でしっかり洗う。家に帰ったら、まずは手や顔を洗いまししょう。)
- ④ 換気と加湿 (こまめに、窓を開けて風の流れを作りましよう。)
- ⑤ 3密の回避 (密集・密接・密閉を避けよう。)
- ⑥ 適切な運動や食事 (免疫力向上のため、十分な休養とバランスの取れた食事、適度な運動を心掛けよう。水分摂取も忘れずに。)
- ⑦ 健康チェック (毎朝、体温測定をして、風邪の症状があるときは無理せず、自宅で療養しましょう。)

《栃木県「冬の感染防止対策」より》

新規共済契約(加入)施設紹介

(令和3年1月~令和3年12月)

施設名	経営主体及び代表者名	加入職員数	所在地
指定障害福祉サービス事業 平吉やしき	社会福祉法人 パステル 石橋 須見江	4人	古河市新久田
小規模保育施設 あいのわ保育園	社会福祉法人 正州会 森 文 孝	8	那須烏山市三箇
保育所 駅東さくら保育園	社会福祉法人 桜美会 小井 文 雄	16	小山市駅東通り
保育所 若木保育園	社会福祉法人 洗心会 大 木 元	12	小山市若木町
保育所 那須高原保育園	社会福祉法人 陽向 木 村 厚 志	13	那須郡那須町湯本
放課後児童健全育成事業 ゆうゆう学童	社会福祉法人 成裕会 野 中 芳 久	19	宇都宮市金田町
指定障害福祉サービス事業 セカンド ホーム	一般社団法人 ふくしのさと 関 口 智 子	2	大田原市浅香
児童館 足利市八幡こども館	社会福祉法人 足利市社会福祉協議会 岩 田 昭	1	足利市八幡町
小規模多機能グループホーム むへん	特定非営利活動法人 福聚会 青 田 咲 子	9	鹿沼市板荷
指定障害福祉サービス事業 はまなす	社会福祉法人 すぎのこ会 岩 崎 俊 雄	8	栃木市岩舟町

共済財団ホームページ『ようこそ！私達の財団へ』のご利用案内

共済財団ホームページには、契約者や各施設及び被共済職員の皆様方に、共済財団の運営状況や退職手当共済事務に必要な情報が掲載されています。

今年度、新たに「退職共済財団のしおり」を掲載しました。「加入に関するQ&A」「掛金の納付と退職手当金の仕組み図」「退職手当金の計算方式」等、退職共済制度について簡単にわかるリーフレットが「加入施設等サービス」よりダウンロードできます。是非ご利用下さい。

加入に関するQ&A

- Q1: パート職員ですが退職共済に加入できますか？
- Q2: 労働時間が正規職員の2/3以上の方は加入できます。
- Q3: 加入するのには年齢制限はありますか？
- Q4: 加入時点で65歳以上の方は加入できません。
- Q5: 志願日が月の途中ですが、その月から加入できますか？
- Q6: その月から加入できます。ただし、掛金は月単位で管理しているため日割計算は行わずに1ヶ月分発生します。事業主と相談の上、加入してください。

退職手当共済制度について

- 加入期間が長期になると退職手当給付額は増えます。
- 加入期間が1年6か月以上で、職員(加入者)が納付した掛金累計額より退職手当金のほうが多くなります。(加入期間が1年6か月未満では、職員(加入者)が納付した掛金累計額を返戻します。)
- 退職手当金の課税については、退職所得控除により税負担が軽減されます。

退職手当金支給率表

加入期間(年)	支給率	加入期間(年)	支給率	加入期間(年)	支給率
1年	0.25%	16年	6.64%	31年	21.85%
2年	0.75%	17年	9.40%	32年	22.80%
3年	1.10%	18年	10.16%	33年	23.75%
4年	1.50%	19年	10.92%	34年	24.70%
5年	1.90%	20年	11.70%	35年	25.65%
6年	2.25%	21年	12.53%	36年	26.60%
7年	2.65%	22年	13.49%	37年	27.55%
8年	3.05%	23年	14.34%	38年	28.50%
9年	3.40%	24年	15.20%	39年	29.45%
10年	4.05%	25年	16.15%	40年	30.40%
11年	5.10%	26年	17.10%	41年	31.35%
12年	5.70%	27年	18.09%	42年	32.30%
13年	6.40%	28年	19.09%	43年	33.25%
14年	7.15%	29年	19.99%	44年	34.20%
15年	7.85%	30年	20.90%	45年	35.15%

退職手当金の計算方式

退職手当金 = 加入期間に応じた支給率 × 退職年度の掛金基準給付額

退職手当金シミュレーション

試算条件: 年齢 180,000円/月(1年)以上65,000円/月未満、勤続期間 10年、勤続期間中に掛金累計額 100,000円

加入期間	本 掛	退職手当金計算額	退職手当金
1年	180,000円	56,160円	56,160円
10年	2,250,000円	633,360円	1,009,090円
20年	2,750,000円	1,422,720円	3,251,280円
30年	3,250,000円	2,368,080円	6,813,400円



私たちの財団

検索

新規共済契約加入施設紹介コーナー

社会福祉法人 桜美会

駅東さくら保育園

～ Smile Life

感謝と思いやりの気持ちを育てる保育をめざして ～



駅東さくら保育園はJR小山駅に隣接する高層タワー型マンション「小山イーストクロス」2階に令和3年4月1日新規開園いたしました。午前6:30からの早朝保育、午後10:00までの延長保育、送迎保育ステーションと多様な保育ニーズに対応した事業を展開すると共に、登降園管理や保護者連絡などにICT技術を積極的に取り入れることで、保育園に関わるすべての人に笑顔とゆとりを提供していきます。

〈施設の概要〉

- ・所在地 小山市駅東通り1-2-50
- ・定員 35名
- ・電話番号 0285-38-6709
- ・FAX番号 0285-38-6710



社会福祉法人 洗心会

若木保育園

～ 「日々の情操の強化に努めるカリキュラム」
子供たち同士が楽しく触れ合いながら ～



若木保育園は小山市若木町に令和3年4月1日に開園いたしました。

若木の森をイメージした2階建ての園内には中心に吹き抜けの「ふれあい広場」があり、カラフルな「トンネル」「らせん階段」「絵本の家」など、ワクワクする場所をちりばめて、子ども達の好奇心をかきたてます。当園では、各年齢や発達に応じての能力を向上させ、日々情操の強化に努めるカリキュラムを目指しています。また、ものづくりや散歩、戸外遊びとカラダを使って体験させることで、より豊かな個性と感受性を創造させ、子ども達同士が楽しく触れ合いながら、笑顔いっぱいの保育園生活を送っています。



- 〈施設の概要〉
- ・所在地 小山市若木町1-6-31
 - ・定員 90名
 - ・電話番号 0285-39-7265
 - ・FAX番号 0285-39-7266